

2020年2月

【新刊発売のご案内】

「プロが教えるアイデア練習帳」 ～発想のプロの頭の中を覗こう！～

著：博報堂 岡田 庄生

「自由にアイデアを考えると急に上司から言われて困った」「チームの発想力が低くて困っている」「アイデアの質にバラツキがある」……。変化が激しい社会の中で、新しいアイデアを形にすることが求められる機会が多くなっています。しかし、良質なアイデアを出し続けるのはアイデア発想のプロだとしても難しいこともあります。

本書では、アイデアはひらめきではないことを指摘し、アイデア発想法のKJ法、ラダリング法などを紹介しながら、実際に博報堂がアイデアを形にするために研修で実践している内容や思考プロセスを解説しています。

また、アイデアの質をあげるために、フォーマットに沿い、「着眼点」を定め、ロジカルにアイデアを考える方法や、ポストイットやホワイトボードを使うのではなく、日常生活の“気づき”を仕事にいかすための手法なども紹介し、無理なくアイデア力を鍛えるコツを学ぶことができます。

アイデアのプロになりたい人向けではなく、事業会社の経営者や商品開発、新規事業開発、人材開発など、企画や発想が必要ではあるものの、これまでアイデア発想法を十分に学んだ経験がない方々にお読みいただければ幸いです。



プロが教えるアイデア練習帳

著：博報堂 岡田 庄生

仕様：新書・224 ページ

価格：850 円（税別）

出版社：日本経済新聞出版社

書店発売日：2020年2月14日

目次

はじめに

第1章 良いアイデアのしくみ

第2章 顧客の行動から考える行動観察法

第3章 顧客の深層心理から考える心理洞察法

第4章 商品の意外な使い方から考える想定外用途法

第5章 隠れたライバルからアイデアを発想する異分野発想法

第6章 アイデアを生み出す会議の進め方

終章 アイデアを出し続けるための3つのポイント

■著者プロフィール：岡田 庄生（おかだ・しょうお）

博報堂ブランド・イノベーションデザイン ディレクター

1981年東京生まれ。国際基督教大学卒業後、2004年、株式会社博報堂入社。PR局を経て、現在、ブランドや事業の変革プロジェクトを支援する博報堂ブランド・イノベーションデザインに所属。企業のプロジェクトリーダーを育成する「ファシリテーション型リーダーシップコース」の講師も務める。2013年、日本広告業協会（JAAA）懸賞論文金賞受賞。2014年、日本PR協会「PRアワード2014」優秀賞受賞。著書に『買わせる発想 相手の心を動かす3つの習慣』（講談社）『お客様を買う気にさせる「価値」のを見つけ方』（KADOKAWA）『博報堂のすごい打ち合わせ』（ソフトバンククリエイティブ）などがある。WEBコラム「ブランドたまご」編集長。経営学修士（MBA）。法政大学大学院 博士後期課程在籍。駒澤大学非常勤講師。